

東北情報通信懇談会 資金援助事業実施概要報告書

支援: 様式4

事業の名称	仙北インターナショナルドローンフィルムフェスティバル2020		
開催日	2020年3月20日	開催場所	株式会社秋田ケーブルテレビ
会場来場者人数	視聴回数: 749回	実施結果に対する感想・反省等	<p>【感想】 本フェスティバルは、当初3月20日にあきた芸術村わらび劇場(秋田県仙北市)での開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルスの影響により、無観客でYouTubeライブ配信での実施に変更しました。 第1回、第2回開催時のように、「劇場で大スクリーンによる作品を上映し、観客の皆さんに臨場感溢れる映像を見て頂く」事は叶わず、残念ではありましたが、ネット配信に切り替えた時点で、事前告知に力を入れました。 結果、日本国内のみならず、海外のドローン愛好者にもリアルタイムでフェスティバルの様子を伝えることができ、ドローンの可能性に加え、配信による今後の海外展開への手ごたえを感じました。 また、学生や児童を含む地域住民の巻き込みにより、秋田県内で本フェスティバルを実施する意義が、広く伝わったと考えます。</p> <p>【次回の課題】 今回の応募本数は第1回目、第2回目に比べ約半分強でした。原因として、応募フォームに、作品の著作権や撮影許可申請書類などの入力必要項目が多かった事が考えられます。 次回は、応募のし易さと権利・許可関係のクリアを両立させる応募フォーム作成の工夫をします。</p>
主催団体等	<p>【主催】 仙北インターナショナルドローンフィルムフェスティバル実行委員会 【共催】 東北情報通信懇談会 【後援】 秋田県、総務省東北総合通信局、NHK秋田放送局、日本ケーブルテレビ連盟東北支部</p>		
実施行事概要	<p>○作品募集期間: 平成31年11月12日～令和元年1月19日 ○応募作品数: 65作品(うち海外10作品) ○発表上映会日時: 3月20日、13:00～17:00 ○上映会内容: ・ノミネート作品18本上映 ・「日本一多忙なドローンパイロット」請川博一氏による講演 ・秋田県出身のCMディレクター成田洋一氏が仙北市の中学生とともに創り上げた「仙北市・生保内の魅力を伝えるCM」配信・トークセッション ・仙北市の園児達が描いた絵・秋田公立美術大学の学生がデザインしたウェルカムボードなど、ドローンをテーマに地域住民が参加した取り組みの紹介 ・受賞作品の発表・表彰</p>		



ライブ配信の様子



秋田公立美術大学の学生が作ったウェルカム